

◆◇◆居住福祉ネットワーク東海 設立集会のご案内◆◇◆

長期不況のために失業や低所得に苦しめられている人が増えています。収入の減少で家賃やローンなどの住居費を賄えず、安定した住居を失う人も増えています。日本ではお金が無くなれば、容易に住居を失う仕組みになっています。逆に失った住居を確保するのは困難です。この仕組みは、快適な居住環境が必要な、病気や障害で十分に働けない人々、定年退職した人々から住居を奪ったり、より厳しい居住環境の選択を余儀なくしたりします。

現在の日本では、景気の変動や個人の抱えている条件に関わらず、多くのお金を住居につき込めなければ、憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」が実現できません。それどころか、社会的弱者ほど貧困な居住環境に甘んじなければならない状況です。

幸い住居は移動しません。地域に多様な専門家や居住者の連携があれば、適切な居住の実現に寄与できます。そこで適切な居住を実現するための多様な専門家や居住者の連携のプラットフォームとして「居住福祉ネットワーク東海」を設立することにしました。

設立集会として日本の住宅政策の核心を描こうとした「さようなら UR」を視聴し、意見を交換したいと思います。ネットワーク設立の趣意に賛同する多くの方々の参加をお待ちしています。

◆と き : 2013年3月20日(水・祝日)

13:30~17:00 (13時開場)

◆ところ : 中京大学 4号館東館1階 「412」教室

※名古屋市営地下鉄「八事」駅 5番出口

<開 会>

第一部 「居住福祉ネットワーク東海」設立記念上映会

① 「さようなら UR」(2011年制作、早川由美子監督、73分)

② 「さようなら UR」鑑賞後の意見交換

第二部 「居住福祉ネットワーク」設立の会

① 設立の趣意説明

(これまでの経過・規約・今後の活動計画の報告)

② 参加者のフィールド(活動内容・専門分野など)の紹介

③ 設立の確認

<閉 会>

◆連絡先◆ 中京大学総合政策学部 岡本研究室
(mail; yokamoto@mecl.chukyo-u.ac.jp)

『さようなら UR』 上映会のお知らせ

第1回スカパー！IDEHA受賞作品 山形国際ドキュメンタリー映画祭2011



2013年3月20日(水・祝)

13時開場 13時30分開演

入場：500円(学生、生活保護受給者、

または生活保護相当の収入の方は、入場無料)

場所：中京大学4号館東館1階「412」教室

耐震性不足を理由に取り壊しが決まった、UR(旧住宅公団)管理の高幡台団地73号棟(東京・日野市)。数年前までURは耐震改修を行うと住民に知らせていたにもかかわらず、突然の方針転換。UR団地の住宅削減方針が決まったのと時を同じくして発表された73号棟の取り壊し。背景にあるのは団地の削減、民営化なのか?偶然この問題を知った監督が、団地に住む人々の暮らしに密着し、住宅問題の専門家、UR、国交省...と取材する中で、公共住宅問題に潜む、日本の組織体制の問題点を浮き彫りにする。異色の”住宅”ドキュメンタリー映画。

制作：2011年、日本 長さ：73分

監督・撮影・編集：早川由美子

予告編はホームページ：

www.petiteadventurefilms.com



写真：高幡台団地73号棟